

別添4 新品種の説明書様式

<p>様式 新品種説明書</p> <p>植物品種保護農業許認可センター長殿 農業省センター事務所 E棟3階 Jln. Harsono RM No.3 Ragunan, Jakarta Selatan (12550)</p> <p>PVP権出願様式記入説明</p> <ol style="list-style-type: none">1. PVP権出願様式は2通作成2. この様式の中で、説明及び／又は記入方法によりいくつかの質問に答えること3. 様式は、Times New Roman 又は Arial の12フォントを用いて記入すること4. 選択したコラムにはXを記入すること <p>新品種説明書で意図されるものは、新規性、区別性、均一性及び安定性(BUSS)の特性及びその他の支援情報を含むPVP権が出願される品種の植物の特性の詳細である。</p>							
<p>1. 新品種の繁殖方法 :</p> <p>[生殖] <input type="checkbox"/> 他家受粉 <input type="checkbox"/> 一部他家受粉 (.....%) <input type="checkbox"/> 自家受粉 <input type="checkbox"/> アポミクシス <input type="checkbox"/> その他、説明.....</p> <p>[栄養] <input type="checkbox"/> 組織培養 <input type="checkbox"/> 挿し木 <input type="checkbox"/> 接ぎ木 <input type="checkbox"/> その他、説明…</p>							
<p>2. 新品種の状態</p> <table border="1"><tr><td>病害虫フリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/></td><td>病害虫フリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>ウィルスフリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/></td><td>ウィルスフリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>ストレスフリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/></td><td>ストレスフリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/></td></tr></table>	病害虫フリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/>	病害虫フリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/>	ウィルスフリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/>	ウィルスフリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/>	ストレスフリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/>	ストレスフリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/>	対照品種の状態
病害虫フリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/>	病害虫フリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/>						
ウィルスフリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/>	ウィルスフリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/>						
ストレスフリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/>	ストレスフリー <input type="checkbox"/> 非フリー <input type="checkbox"/>						
重要: 病害虫被害又は環境ストレスの症状がみられる場合、そのこと及びその影響について完全に説明すること							

3. 完全な説明書

完全な説明書の作成において、出願者はインドネシアにおける特性審査（DUS 試験）結果又は当該品種の原産国における比較試験報告書から得られた情報を使用しなければならない。

- 品種の特性の説明は次のとおり植物の部分の順序に基づいて概説される必要がある：植物、茎、葉、花房、花、及びその部分、果実、及びその部分、種子、その他の形質（例えば、病害虫抵抗性、ストレス耐性、品質、DNA データ等）。
- 形質についての表記順序は次のとおりとする：習性、高さ、長さ、幅、大きさ、形、色（標準カラーチャートを参照することができる）、及びその他。
- 簡潔な形質の体系的な表記法を用いる。すなわち植物のそれぞれの部分について（：）で続け、特性を（、）で分ける。

例：

植物：生育型 細いブッシュ、高さ 中、成熟 早い

茎：アントシアニン なし、節間 (internodal) 短い

葉：長い、細い、斑点がある、葉の纖維の主要な色 緑 (RHS 137A、1986)、葉の先端の色 淡い黄緑 (RHS 1A、1986)

花房：散房花序 (malai)

花：早生、小花柄 短い、直径 小さい (平均 12.5 mm)、花弁 5 枚、花弁の色 緑 (RHS 12A、1986)、花鞞 5 等

以下が含まれるように：

- 1) PVP 権が出願される品種の完全な説明
- 2) 対照品種 1 の完全な説明
- 3) 対照品種 2 の完全な説明

4. オリジン及び品種育成のプロセス

- PVP 権が出願される品種の育成のために用いられた育種手順について詳細に説明する。いつ及びどこで最初の観察が行われたか；選抜された世代の合計、それぞれの世代における繁殖方法、現在のかたちをすでに保持している当該品種の世代の合計；オフタイプ

又は“off-types”及びこの品種の育成に関連のあるその他の説明を明らかにする。F1交雑品種については、その親及び参考データとして育成された純系の形質にかかる特性についても明らかにする。当該品種が戻し交雑の結果である場合は、元の親の名称と形質にかかる特性を記述する必要がある。当該品種が遺伝子組換えの場合は、挿入された遺伝子及び元の品種の形質に関連するプロセスを明らかにする必要がある。

- 得られた品種の育成プロセスがどのようなものか明らかにする：人工交配、自然集団の系統選抜、遺伝子組換え、自然突然変異、人為突然変異、導入及びその他。
- この品種の育成において用いられた選抜のプロセスと手法を簡潔に説明する。PVP権が出願される品種の育成プロセスにおいて用いられた繁殖システムも記述する。
- PVP権が出願される品種の育成プロセスに関連するその他の情報も含める。
- 品種育成のスキームを記載する。

5. 対照品種の選択

最も類似した同定及び決定を考慮することは、この試験からの最も決定的な部分であり、育成者／出願者が最終選抜を行う前に再度研究することが推奨される。この部分では、比較試験に用いられる対照品種の選択の理由を記述する。比較試験の中で品種の区別のために用いられる形質グループを決定する。説明書、写真等によりPVP権が出願される品種からさらに区別される可能性のないすべての品種を含める。

PVP権が出願される品種が親からまだ区別されていない場合、親を比較試験に入れることを要件とする。ただし、親が形質グループを用いた品種の候補から区別される場合はこの要件を適用しないことができる。

当該形質グループに基づいて、以下の品種は試験に含められる：「対照1」、「対照2」。

6. 比較試験

- 対照として用いられる品種又はその他の材料を登録する。
- 試験の場所と日付を記述する。
- 繁殖手法、測定及びポット／区画タイプ、生長メディア、与えられる行為（殺虫剤、他の化学栄養、等）、照射、かん水、又は試験を繰り返すために必要な管理についての細部を示す。
- 用いられる試験設計、試験のサンプルのトータル数、観測される特性を記述する。

それぞれの測定／観察のために採取されるサンプル数を記述する。どのような方法でサンプルが採取されるか用いられる手法を記述する。

7. 説明書作成者氏名

- 説明書作成者の氏名及び住所。育成者によって作成される説明書。説明書の細部の正確さに関連する育成者の責任である。

説明書作成者氏名 :

住所 :

8. 比較表

比較表、作成には次のような事項に注意する必要がある。

- DUS 試験結果データ表には、PVP 権が出願される品種の形質は、常に对照品種の形質データの左側のコラムに記載される。
- 順序どおりに形質を整理する。
- 形質の順序を用いる：植物体、茎、葉、花房、花、花の部分、果実、果実の部分、種子、特別の形質、その他。
- 測定される記載する：平均、標準偏差、 $P \leq 0.01$ の範囲の最小有意差 (LSD) *。
- 明確な区別性を説明する場合、次のように明確な差異の範囲を示す： $P \leq 0.01$ 、又は差異がないときは NS。
- 区別が明確な形質については点数を用いてはならない。ことばで例えば丸いと記述する。
- ランクされる形質については数字を書き、「ノーマル」な統計分析を使ってはならず、非パラメトリックを使う方がいい。

区別される形質 (質的)	(茎の色、葉耳の色、葉の色)			
	PVP 権出願 品種	対照品種		
		対照 1 (最も類似)	対照 2 (その他品種)	

測定できる形質 (疑似の質的)	明確に区別される形質（例えば：1995RHS、果実の形）			
	PVP 権出願 品種	対照品種		
		対照 1	対照 2	

区別される形質 (量的)	(例えば：植物の高さ、葉の長さ、等)			
	PVP 権出願品種	対照品種		
		対照 1	対照 2	
測定値				
標準偏差				
LSD による明確な区別				

9. 均一性の表：量的形質

すべての対照品種の分散と PVP 権が出願される品種との間の区別となるそれぞれの量的形質の形態の分散を記載する。対照品種のすべての分散を平均する方法での対照品種の合計分散を計算する。PVP 権が出願される品種と対照品種の合計分散との比を計算する。

区別される形質	PVP 権出願品種の分散	対照品種の分散	対照品種の分散	対照品種の分散	対照品種の分散	対照品種の分散	対照品種の分散	対照品種の合計分散	／対照品種の合計分散
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

10. 均一性の表：質的形質及び疑似の質的形質

PVP 権が出願される品種集団におけるオフタイプの合計

区別される形質	植物体合計		
	正常	オフタイプ	異常
1	2	3	4

11. 安定性の表

少なくとも 2 世代から育成された PVP 権出願品種の植物体は、対照品種との区別性として用いられたどの形質についても、明確に区別されない類似性を有さなければならない。

- 「状態」で意図されるものは、明確に区別される形質の出現の状態である。

- 明確に区別される形質については、コラム 4 及び 5 は記入する必要がない。

区別される 形質	第 1 世代の平 均又は状態	第 2 世代の平 均又は状態	平均間の 差異	LSD (P=0.01) (測定できる形質に ついてのみ)	S=同じ又は B= 異なる？を記入
1	2	3	4	5	6

12. 育成者／専門家の宣誓

この様式及び添付資料に記載された品種特性情報は、以下により得られたものである。

- a) 私の監督下でまとめられ分析された学術的試験であり、真にこの品種の特性の表現を代表する：及び又は
- b) 外国における有効な試験報告、すなわち……………から

さらに、私は、この品種がすでに一般に知られている最も類似する品種と区別され、均一性及び当該品種からの繁殖において安定性の基準を満たしていることを宣誓します。

場所、日／月／年

育成者／専門家

署名

(明確な氏名)

出典：インドネシア農業省植物品種保護・農業許可センター ウェブサイト

(<http://pvtpp.setjen.pertanian.go.id/cms/wp-content/uploads/2015/11/FORM-DESKRIPSI-VARIETAS-BARU.pdf> 2017年1月12日検索)